

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信



やどりき水源林ニュース

発行 (公財) かながわトラストみどり財団 編集 (認定 NPO 法人) かながわ森林インストラクターの会
 〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内
 ☎045-4412-2255 URL: <https://www.ktm.or.jp> E-mail: midori@ktm.or.jp

やどりき水源林森の案内人(定期)観察会のお知らせ (費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から (認定 NPO 法人) かながわ森林インストラクターの会 会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。



から、やどりき水源林は元気を取り戻しました!

上の写真は水源林のどこでしょう?
 実は、寄大橋からみた管理棟下あたり、
 台風接近時の寄沢、です。
 普段はこんなかんじ、ですよ。

地球温暖化によって非常に激化したともいわれる 2019 年 10 月の台風 19 号。やどりき水源林も大変な豪雨と風で大きな被害を被ったことを覚えている方も多くかもしれません。

それでも、県の復旧工事は 2020 年度末にほぼ終了、水源林は県民の憩いの場として再度開放されました。



2年後

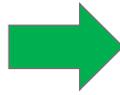


寄沢の濁流がピクニックベンチのあった広場をえぐりました

護岸工事が終わった本年秋の広場



2年後



林道はここここで土砂崩れに巻き込まれ寸断されました

同じ場所ですが、切通工事で再度通れるようになりました

台風 19 号の経験は自然の森ではしばしば発生する「自然攪乱(しぜんかくらん)」と呼ばれるもので、地球環境がサステナブルに展開する上で大変重要な出来事です。横浜国大の森章先生の HP で詳しく解説されています。「(攪乱とは) 森林生態系の場合では、台風、・・・、山火事、・・・ などにより森林が大きく破壊されると、樹木が倒壊あるいは枯死したところでは、新たな開いた空間が形成されます。そのような場所は、・・・実はさまざまな生物に住み場所を提供するとともに、自然のプロセスとしての再生の場ともなります。・・・攪乱と再生のプロセスにより、生態系に多様性が生み出されます。」

(横浜国大の森章研究室の HP <http://akkym.net/asm-disurbance/> から 2021 年 10 月 31 日に抜粋)



今秋のやどりき水源林は
アズマヤマアザミの花盛り。
山が凍り付く朝、
是非一度見にいらしてください。
どうなっているかは、おたのしみ。



ユウガギク



花は小さいのに実は結構大きい
ミヤマタゴボウ。
キュートな「磯野波平さん髪の毛の
状」の花柱が少し残っています。

台風 19 号後に数が少なくなった
エゾスナゴケのコロニーが回復しつつあります。

森章先生によれば攪乱を経て自然が必ず元に戻るとは
言えず、特に人間活動による乱暴な攪乱はその生物多様性
回復力を劣化させているそうです。

やどりき水源林で考えてみると、盗掘や密猟、登山道を外
れて歩き林床に「踏圧」と呼ばれる負荷をかける、ゴミを捨
てる、安易な火の取り扱いによる山火事、などの被害でしょ
うか。人間の起こした攪乱は水源林のレジリエンスを破壊
し、数年後には十分な水を蓄えられず土石流を引き起こす
森にしてしまうかもしれません。

どうか、みなさまの水を育む森を、マナーを守って大切に。



森の案内人は 12 月から 2 月まで、お休みをいただきます。

2022 年 3 月には森の案内人が週末のご案内に戻ってきます。

3 月 12 日にはコロナ禍で 2 年連続中止になった「**水源林のミツマタ群生鑑賞**」が復活します。人気のイベントです。

事前申し込み締め切りは 2 月 26 日。かながわ森林インストラクターの会に往復はがき (〒243-0018 厚木市中町 2-13-14 サンシ
ヤインビル 604) またはメール (k-inst0981@friend.ocn.ne.jp) でご連絡ください。